

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	リハビリテーション学分野
学籍番号	14S3062	院生氏名	松崎 秀隆
通学キャンパス	福岡キャンパス		
論文題目	臨床実習における不当待遇から捉えた教育指導方法に関する研究		
審査結果 (枠で囲む)	○合格		不合格
<p><審査結果の要旨> 判定：合格</p> <p>1. 主論文の内容と概略および価値 本研究は、臨床実習での不当待遇に対する学生や臨床指導者へのアンケートをもとに、不当待遇と感じられるような行動の軽減を目指した卒業前後での新たな教育指導法の提案を行った研究であり、今後実習における教育指導法の改善に向けた一助になることを期待した研究である。 本研究の新規性や独創性は、臨床実習での不当待遇に対して他学科横断で検討した点と学生および臨床実習指導者の両面から不当待遇を検討した点、および臨床実習指導者には過去の学生時代を振り返った後ろ向き調査も行ったところである。</p> <p>2. 研究倫理面と利益相反、副論文の妥当性に関して データの解析結果や論文上の記載に関しては、個人情報やプライバシーの公開は一切行われておらず適正な倫理的配慮を行っている。尚、本研究は著者の所属する法人(承認番号：FS-46, FS-115)と当大学の倫理委員会の承認を受けている(承認番号：14-Ig-07)。副論文は2編の提出があり、いずれも査読のある雑誌に掲載されており、副論文の妥当性も認められた。</p> <p>3. 論文審査経過 平成28年12月22日審査会は1回目の審査を行い、データ収集の杜撰さ、統計解析の不十分さや論文の構成上の問題点(内容・構成の不備、図や表の不備、考察の論述性の未熟さ)を指摘し、改善を求めた。修正論文を2017年1月4日に提出してもらい論文の修正がきちんとなされているかを検討した結果、研究の独創性が明確でない部分を指摘する意見もあったが、現在のデータ収集状況では結果や考察に大きな変化が生じる可能性は少ない、と判断し合格とした。</p> <p>4. 口頭試問結果 平成28年12月22日に下記3名の委員により提出論文と発表を基に口頭試問を行った。本研究内容の総合的な整合性、調査のデータ解析の適切性、提案したプログラムの客観性、などの質問に対し、研究計画の立案、実施、解析手法などに一部理解不足を感じさせられたが、相応の修学を行っている事が伺えたため、口頭試問は合格とした。</p> <p>5. 審査総括 審査全員共通して、非常に評価がわかれる難しい研究課題に対して、研究者本人が積極的に研究を遂行し、ある程度納得のいく成果を挙げている点と今後の研鑽を期待し、審査員全員が本論文著者の博士(保健医療学)学位授与に合意した。</p>			
論文審査担当者	主 査	後藤 純信	
	副 査	黒澤 和生	
	副 査	原田 浩美	